

## ITの「ホームドクター」?

目代純平さんは、テレビに「ネット問題評論家・専門家」として登場することが多い。

「メインの仕事は中小・中堅規模の法人に向けたIT全般のコンサルティングと運用管理業務です。数千人規模の大きい会社なら自社内に情報システム部門があつて、社内全体のIT管理やトラブルの対処をしますが、私たちはさまざまなお客様の情報システム部門を担当しているのです」

具体的には?

「現在約100社のお客様のIT管理やコンサルティング業務を担当しています。ITの用語は難しいことが多いので、たとえば新しくシステムを組みたいと思っても、発注側が仕組みをよく理解していないとシステムを組む側にならざるを得ず、見当違いなシステムができあがつてしまうということになりかねません。双方の状況がわかる私たちが間に入って通訳し、コーディネートするわけです」

科学技術はどんどん進化しているが、コンピュータの基本的な仕組み自体はそれほど変わらない面もあるようだ。

「お客様ごとに業種や仕事の進め方も違うので、それぞれのお客様の業務を知ることも重要です。現在、どの業種においてもITを問わずに仕事をすることは難しい時代ですが、何か問題が起こると業務が止まってしまうお客様も多いので、安定したシステムやインフラを設計・管理することがとても大事です。また、私たちの仕事は、小回りが利くことも重要ですし、システムのなかでど



## ITの悩みを スピーディーに 解決

もくだい じゅんぺい  
**目代純平さん**

チェックフィールド株式会社  
代表取締役

1976年、東京生まれ。父親の仕事の関係で、台北日本人学校中学部で3年間学んだ。帰国後、国際基督教大学高等学校から中央大学総合政策学部に進学し、環境経済学を専攻。大学1年のときにホライズン・デジタル・エンタープライズ(現HENNGE株式会社)の立ち上げに参画。大学4年のときに有限会社チェックフィールドを設立した(2006年、株式会社に組織変更)。2010年、東京都が「eメディアリーダー」に認定。近著に「時短成功! 効率200%UP! スマホ×PC仕事術」(アスカビジネス)がある。



ういうふうには仕事が無理解されてきたかを解明し、改善を提案する必要も出てきます」

患者の病状や病歴を把握して適切な治療をしてくれる『ホームドクター』のような話だ。

## かならず誰かが助けてくれる

幼いころから、ものの仕組みに興味があった。特に『機械の図解』という学研の図鑑との出会いは、決定的でもあったと言う。

「いつも読んでましたね。それでさまざまな機械の仕組みを徹底的に調べるようになりましたし、写真も好きでよく撮っていました。だから、自分が写った写真はほとんどないんです(笑)。パソコンも小学生のころからFM7とかMSXとか……非常に高価だったので、自宅にはPCがなかったのですが、あちこちで貸してもらって触っていました」

中三までバイオリンを習い、台湾に行くまでは区民センターの少年剣道にも通っていた。「初めて台北に住むことになったときは不安でしたが、行ってみると貴重な経験がいろいろできて楽しかった。日本人学校の友達とはいまでも連絡を取り合っています」

高校は単身で帰国し、祖母の家から通った。「二年次はクラスになじめなくて、部活に没頭しました。毎週オーケストラ部に三日、剣道部に三日……暇があれば、吉祥寺の街を部活の先輩が連れて歩いてくれて(笑)。人に恵まれますよね」

大学二年のとき、大手電機メーカーのインターシップでアメリカに行くことができた。「そのとき次世代無線インターネットを経



スマホやインターネットの安全な使い方などを子どもたちにやさしく話す。



台北から沖縄への修学旅行で。機長とはその後も親交が続く。

験できたのも幸運でした。そこで集まった学生たちと前身の会社をつくり、大学四年のときに、いまの会社を起業しました。「困ったときには、かならず助けてくれる人がいる」というのが実感ですね」

## 若手スタッフを育てる

ここ数年は、コロナ禍による混乱が続いた。「突然『社員を出社させないように』『テレワークにして』と言われても(笑)。仕事は急増したのですが、人手も機材も足りませんでした。それでもお客様からはいろんな『球』(要求)が飛んできますから、忙しすぎて辞めていくスタッフもいました」

若手スタッフの育成は特に深刻な課題だ。

「IT業界でもネットワークの設計ができる人はなかなかいませんが、私たちの仕事はそこを理解する必要があります。社内でのインターネットの歴史的な話をしたり、ドットコムマスター<sup>\*</sup>対策講座のような研修もしたりしています。また、利便性と安全性(Security)という相反する要素を両立させる工夫を身につける必要がありますが、これは現場で体得してもらわなければならない。とても手間がかかりますが、コツコツ行っています。ただ、そういうニッチな市場なので競合する会社も少ないのですが……(笑)」

最近、小・中学校等に招かれて、子どもや保護者に「安全なスマホ、インターネットの使い方」の講演をする機会が増えた。

いまや困っている人を助ける側に立つ。

(取材・文 小山和智)

<sup>\*</sup> NTTコミュニケーションズが実施しているインターネットの利用拡大を目的としたICTスキル認定資格制度。